

令和4年度当初予算(案)に対する 意見公募(パブリックコメント)の結果と市の考え方について

令和4年2月

江別市総務部財務室財政課

－募集結果－

【参考】意見の反映状況

意見提出者	2名
対象事業数	7事業
意見数	7件

A		新たに取り組むもの、 または既に取り組んでいるもの
B	4	一部について、新たに取り組むもの、 または既に取り組んでいるもの
C	3	今後の検討課題とするもの
D		実現が難しいもの等
E		その他の意見

※ このほか、対象事業以外の事柄について意見や提案がありましたので、参考とさせていただきます。

令和4年度当初予算(案)意見公募(パブリックコメント)の結果について

1. 募集期間 : 令和3年12月9日(木)～令和4年1月7日(金)
2. 配布部数 : 12部 (R3 31部、R2 35部、R1 56部、H30 48部、H29 51部、H28 57部)
3. 意見提出人数 : 2名 (R3 4名、R2 3名、R1 9名、H30 4名、H29 2名、H28 1名)
4. 意見があった件数 : 7事業 7件 (R3 11事業14件、R2 3事業5件、R1 2事業10件、H30 6事業 12件、H29 4事業 5件、H28 0事業 1件)

(単位:万円)

政策	番号	事業名	所管課	意見数	R3予算	R4要求	R4予算 (案)	左の財源				
								国・道	市債	その他	一般財源	
1	自然・環境	6394	環境管理計画等策定事業	環境課	1		479.3	400.0				400.0
2	産業	6981	道産木材を活用した魅力的な遊び場創設事業	農業振興課	1		4,323.9	3,930.0	1,900.0		2,000.0	30.0
3	福祉・保健・医療	6636	市民後見推進事業	介護保険課	1	860.3	1,289.2	1,289.2	237.0			1,052.2
6	子育て・教育	6582	子育てサービス利用者支援事業	子ども育成課参事	1	491.5	705.9	705.9	588.2			117.7
7	生涯学習・文化	1000	図書館資料整備事業	情報図書館	1	1,962.0	1,962.0	1,962.0			5.0	1,957.0
		6975	旧町村農場保存活用推進事業	生涯学習課	1		1,121.5	1,326.1	650.0	540.0		136.1
9	計画推進	6511	ふるさと納税普及促進事業	契約管財課	1	18,684.6	19,298.2	19,298.2				19,298.2

令和4年度当初予算（案）意見公募（パブリックコメント）意見一覧表

政策	事業名	所管課	ご意見	要求額	予算（案）	市の考え	結果
1	環境管理計画等策定事業	環境課	<p>目的に基づき次世代へ良好な環境を引き継ぐため、国がすすめるSDGsとも連動しながらCO2削減に向けた取り組みを加速させてください。行政関連の施設や職員、市民ひとりひとりの行動や、企業に向け発信し協力を求めていることが必要ですが、具体的な脱炭素への取り組みについて、計画策定ではどのようなプロセスですすめて行くのか論点説明からは理解しにくく、丁寧な説明を付記すべきです。</p> <p>現行の計画を基本に審議会等で学識者、市民、事業者等による議論検討していくおつもりなのか、また、世界的に脱炭素への動きが急速にすすみつつあることから、これまでの計画とどのような点について変わっているのか、また、市や市民等にとって変化が生じていくのかなどわかりやすい事業の説明が必要と感じます。</p>	479.3万円	400.0万円	<p>次期江別市環境管理計画は令和4、5年度の2カ年に渡って策定し令和6年度から次期計画が開始する予定です。</p> <p>2050年脱炭素社会実現に向け、国では令和3年に地球温暖化対策推進法が改正され、地球温暖化対策実行計画・区域施策編は政令市・中核市以外の市町村は努力義務とされました。</p> <p>このことを受け江別市では地球温暖化対策実行計画・区域施策編を江別市環境管理計画に包含する形で策定する予定です。</p> <p>策定作業としては令和4年度の上半期に江別市の二酸化炭素の排出量など環境の現状の調査分析、市民アンケート実施など、下半期にはこれらをもとに計画骨子（案）等を作成する予定です。令和5年度の上半期から環境の将来像や取り組みについて検討を行い、令和6年度から次期計画を開始する予定です。</p> <p>これらは江別市環境審議会に令和4年度の下半期に諮問を行い、令和5年度の下半期に答申を行う予定となっております。</p> <p>また、令和5年度下半期にはパブリックコメントに付する予定です。</p> <p>次期江別市環境管理計画では、市民や事業者が太陽光発電設備やEVの導入をはじめとした脱炭素社会実現に向けた取り組みが進められるよう市として啓発や支援に関する施策を進めていく必要があると考えております。</p>	C
2	道産木材を活用した魅力的な遊び場創設事業	農業振興課	<p>事業の目的はなるほどと思いますが、厳しい財政状況と言われる中において、4323.9万円もの財源を、いま投入する必要性に強く疑問を感じます。驚きました。全額一般財源を投入し創設するとのことですが、こうした取り組みは「えみくる」だけなのか、今後市内の公園等にも計画的に取り組んでいくうちのひとつなのかなどについても不明で、もっと説明が必要です。</p> <p>旭川市のカムイの杜公園のような大きなものをお考えなのでしょう。造成するにあたって施設の整備方針や施設の魅力発信の手法等について意見を伺うということを論点としていますが、木製遊具があれば人を呼び込めると考えるのは安易です。市の税金を使うに当たって、予算案への意見として整備方針や魅力発信の手法などを市民に聞くという姿勢自体がよく理解できません。</p> <p>すでに「えみくる」がある地域の良さや独自性を時間をかけて考え、例えば今ある自然や地形を生かし、素朴で街中の公園にはない・できないような遊びをできる場所を、子育て世代の方々と検討しながらつくっていくのが大切だと思います。こうしたプロセスこそが市民協働のまちづくりを推進している市の方針に合致するものと考えます。むしろわんぱく公園的な遊び場こそが、今の子どもたちには必要です。また、江別は比較的緑が多く、市内の公園もある一定程度整備されていると認識します。野幌森林公園、しのつ河畔林に触れる機会をさらにアピールし生かすことで、ある意味十分であるともいえるのではないのでしょうか。</p>	4,323.9万円	3,930.0万円	<p>都市と農村の交流センター「えみくる」は、江別市の地域資源を活用して、都市と農村の交流を促進するとともに、地域農業の振興及び農業者の健康と福祉の増進を図ることを目的として、平成29年度から施設供用が開始され、令和3年度には更なるにぎわいの創出を目指して、少年野球場を造成したところです。</p> <p>また、当市では少子高齢化への対応として、少子化対策の必要性を検討するため、令和2年度には、内閣官房が実施する調査研究事業に参加したほか、令和3年度からは、庁内の子育て世代の職員等による検討が行われた結果、「道産木材を活用した魅力的な遊び場創設事業」をえみくるで実施する案が考案され、えみくるの新たな魅力創出と市の少子化対策になるものと考え、今回、予算案を策定したところです。</p> <p>なお、財源については、国の森林環境譲与税を原資とした基金の活用などにより、一般財源への影響が最小となるよう努めるとともに、木製遊具の設置については、都市公園に設置される遊具に比べ、より日常的な点検・管理を要することから、職員が常駐するえみくるに設置することとしており、現状、他の公園への木製遊具の設置は考えておりません。</p> <p>ご意見にある、えみくるの活用については、遊具を起点とした自然体験教育や食育、木育などへの広がりを目指した活動など、えみくるの指定管理者や農村地域の方々の他、他部局とも協力して検討してまいります。</p>	C
3	市民後見推進事業	介護保険課	<p>制度自体が市民、また、必要な方々に浸透していません。相談専門員は、相談業務だけではなく様々な団体やイベント、地域へ出向くことが求められます。</p> <p>また、関係団体の裾野を広げ、この事業の必要性等を多くの市民に知ってもらうことが必要です。障がい者関連団体のみならず子育てや地域活動団体関連が参加する中で知ることができれば、必要だと思われる方々をセンターや市につなげていくことができる可能性もあると思います。</p>	1,289.2万円	1,289.2万円	<p>成年後見制度及び相談支援機関である江別市成年後見支援センターの認知度が十分に市民の皆さまに浸透していないことは、市としても課題であると認識しております。</p> <p>このことから、今後も広報えべつや社協だより、ホームページのほか、出前講座、講演会等様々な機会を活用し、幅広い周知啓発に取り組んでまいります。</p> <p>また、研修会等を通じ、民生委員や自治会、福祉・医療関係者及び金融機関などの事業者への制度の理解促進を図るとともに、江別市成年後見支援センターを中心として、地域包括支援センターや障がい者相談支援事業所等の既存の相談支援機関と連携し、広く市民の皆さまに知っていただけるよう取組を進めてまいります。</p>	B

令和4年度当初予算（案）意見公募（パブリックコメント）意見一覧表

政策	事業名	所管課	ご意見	要求額	予算（案）	市の考え	結果
6	子育てサービス利用者支援事業	子ども育成課 参事	<p>子育て支援策として重要な事業と思います。目的に記載されている「関係機関」とはどのようなところを認識されているのでしょうか。子育てにおける様々な困り感の解消や孤立感をサポートするためには、様々な場面で子育てに関連する団体や福祉関連など多くの関係者が互いの活動を知り情報等を共有し、江別市の全体像を理解できる場が必要と考えます。</p> <p>また多くの関係機関・団体が活動について互いを知り得ていない状況であると感じています。市と関係団体との関係だけではなく、市が呼びかけ団体となって一堂に会する場をつくり、そこからさらに市の子育てコーディネーターにつなげ効果的にいけるよう要望します。</p>	705.9万円	705.9万円	<p>「関係機関」につきましては、保健センターや子ども発達支援センターなど市の機関のほか、市内の子育て関連団体、民生委員・主任児童委員、地域の子育てボランティアなど、子育てに携わるすべての機関や団体を指しています。</p> <p>子育て家庭の多様なニーズに応え、個々の家庭に適したサポートをするためには、これらの関係機関がそれぞれの強みを活かしながら、公民協同で支援する体制が必要と考えております。</p> <p>これまで、市としては子育て支援コーディネーター等を通して関係機関への情報提供を行ってきたところですが、今後も市内全域の子育て世帯とコーディネーターがつながることができるよう、子育て支援体制の充実を図ってまいります。</p>	B
7	図書館資料整備事業	情報図書館	<p>SNSやICTの進展により、図書の大切さがこれまで以上に求められると思います。市民要望と共に識見からの意見等も参考にしながら、本館・分館の購入費の増額を求めたいところですが、今後、これ以上減額とならないことを要望します。</p>	1,962.0万円	1,962.0万円	<p>情報図書館の図書等の資料収集にあたって、地域の図書館として、また市民への情報提供という機能を踏まえて、利用者の要求を的確に捉え、地理的特性や地域性、さらに時事性や話題性についても考慮する「資料収集方針」に基づき、資料購入を進めております。</p> <p>今後も、幅広いニーズに応え、多くの市民にご利用いただけるよう、図書等の資料整備に努めてまいります。</p>	B
7	旧町村農場保存活用推進事業	生涯学習課	<p>江別の歴史において重要な事業と思います。コロナ禍では利用者は減少と思いますが、年間の利用者は毎年着実な人数があると認識します。市内外へのアピールとともに時代を感じる趣のある施設の部屋が利用できることもさらに周知され維持されていくことを要望します。</p>	1,121.5万円	1,326.1万円	<p>旧町村農場は、江別市の酪農の歴史を伝える施設として、多くの方にご利用いただいており、令和元年度は8千人を超えておりましたが、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館などのため、利用者減となっております。</p> <p>(R2:4,441人 R3:2,765人)</p> <p>このような利用状況などを踏まえ、当該事業においては、江別の酪農産業と歴史を伝える施設として景観を維持しながら、市民意見を参考にして機能強化を図り、利活用を進めてまいります。合わせて、市内外から多くの方に利用される施設となるよう施設の魅力PRに努めてまいります。</p>	B
9	ふるさと納税普及促進事業	契約管財課	<p>事業としての評価はいたしますが、意見公募として馴染まないと思います。市として関係機関と連携し工夫してください。着実な税の導入を期待します。</p>	19,298.2万円	19,298.2万円	<p>意見公募にあたっては、江別市のふるさと納税の更なる推進に対する効果的な手法などについて広くご意見を伺う趣旨で記載したものであります。</p> <p>市としてはインターネットでふるさと納税の申し込みができるポータルサイトを更に追加するほか、ご意見を踏まえ、返礼品提供事業者への支援などについて関係機関と連携し、更なる事業推進に努めてまいります。</p>	C
	その他自由記載		<p>令和3年11月29日から江別市より販売された「えべつプレミアム付商品券」は、たいへん有用に使わせていただきました。商売をされている方の力にもなり、われわれ市民の消費者にとってもたいへんお得な商品券であり、これから先、現在のコロナ禍の行方がどうなっていくかわかりませんが、市としてもそうしたことに使われる財源は十分に確保し、これから訪れるかもしれない困難に立ち向かう術として、次回の商品券の発行に向けてご検討ください。</p>				